**自然体験活動指導者（リーダー）修了試験問題例**

　自然体験活動指導者（NEALリーダー）修了試験（以下、「試験」という。）は、下記の問題例や講習会講師用ハンドブックなどを参考に、養成カリキュラムの内容に沿って作成してください。試験は概論の理解度をはかるものであり、選択式問題と記述式問題をバランスよく、特定の科目に偏ることなく出題してください。なお、試験は100点満点中60点以上を合格とし、試験時間は30分間です。（養成団体の認定等に関する細則第9条）

※下記問題例は科目別に記載しておりますが、実際の試験では科目別にする必要はありません。また、下記の問題例から出題する必要もありません。

**青少年教育における体験活動**

１．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。

①青少年の体験活動と自立に関する実態調査によると、チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたことのある子どもは年々減少している。

②子供たちが自然体験活動によって、最も身につけるものの一つは「社会性」である。

③体験活動は、生活・文化体験活動、自然体験活動、学校体験活動の３つに分類できる。

２．次の文中の（　　　）に適切な言葉を選び、文章を完成させなさい。

①青少年教育では、その特性から、参加・参画型、（ 　　　）の教育方法が効果的である。

Ａ：双方向型　　Ｂ：一方的型　　Ｃ：自立型

②現代を生きる青少年の特徴として、対人関係が（　　　）で、異年齢や異世代との交流が（　　　　）ことが挙げられる。

Ａ：濃厚　　Ｂ：希薄　　Ｃ：少ない　　Ｄ：多い

③平成25年1月21日、中央教育審議会答申「今後の青少年の体験活動の推進について」では、「体験活動の定義について」以下のように記載されている。

「体験活動は、意図的かどうかを問わず、直接（　　　　　）とかかわる活動を行うことにより、五感を通じて何かを感じ、学ぶ取組を広く包含している。体験活動の意義については、平成19年の中央教育審議会答申において、主として「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する者に対して（　　　　　）に提供される体験」とされており、特に社会教育や学校教育の場で提供される場合は、教育的な（　　　　　）を考慮して体験活動を進めている。」

　 Ａ：目的・効果　　Ｂ：自然や人、社会等　　Ｃ：意図的・計画的

④③の答申では、「青少年の体験活動の意義・効果について」以下のように記載されている。

体験活動は教育的効果が高く、幼少期から青年期まで多くの人とかかわりながら体験を積み重ねることにより、（　　　　　　）として必要となる基礎的な能力を養う効果があり、社会で求められる（　　　　　　）、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、変化に対応する力、異なる他者と共働したりする能力等を育むためには、様々な体験活動が不可欠である。

　 Ａ：コミュニケーション能力や自立心　　Ｂ：「社会を生き抜く力」

３．青少年の現代的な課題を３つ挙げなさい。

**自然体験活動の特質**

１．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。

①自然体験活動は、自然を大切にし、守る気持ちを育てる。

②自然体験活動は、地域の文化や伝統、人々の暮らしについて目を向けることも必要である。

③オオサンショウウオは生態系の頂点にいる生物であるが、会場周辺の里山では滅多に観察することはできない。

④東京近辺の雑木林は、そのまま放置するとやがてブナの林になる。

⑤里山にはエネルギーとして活用できるものは何もない。

２．自然体験活動を行う意義とは何か、記述しなさい。

３．自然体験活動が青少年の成長に与える良い影響について、具体的に記述しなさい。

**対象者理解**

１．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。

①対象者の活動経歴や地域性、身体的な情報などは、参加申込書等から事前に把握しておく必要がある。

②対象者に関する情報は、対象者同士の交流を図るため、本人や保護者の意向に関わりなく積極的に開示した方がよい。

２．次の文中の（　　　）に適切な言葉を選び、文章を完成させなさい。

文部科学省は、小学校低学年の子どもは、幼児期の特徴を残しながらも、「大人が『いけない』ということは、してはならない」といったように、大人の言うことを守る中で、（　　　　）についての理解と判断ができるようになる。また、（　　　　）や認識力も高まり、（　　　　）等への関心が増える時期でもあると報告している。

Ａ：自然　　　Ｂ：善悪　　　Ｃ：言語能力

３．指導者から参加者へ話をする際に配慮すべきことは何か、記述しなさい。

**自然体験活動の指導**

１．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。

①一般的に、自然体験活動では大人数のグループの方が小人数のグループよりもきめ細かい対応ができる。

②風景について説明をする時、参加者の後ろから同じ方向を見ながら話をすると、参加者も理解しやすい。

③対象が子供の場合、年齢や体力は考慮せず,体験する活動を行えばよい。

④毎年同じ時期、同じ場所で事業を実施する場合、下見をする必要はない。

２．自然体験活動指導者としての基本的な心構えについて、次の文中の（　　　）に適切な言葉を選び、文章を完成させなさい。

①活動に適した服装や（　　　）に気を配ること。

②言葉づかいに注意すること。

③物事への誠実な対応、謙虚な態度、明朗快活、健康管理に努めること。

④動作等参加者への心遣い、気遣い、目配りに留意すること。

⑤指導者の立ち位置に注意を払うこと。

⑥参加者との（　　　）を上手に図ること。

⑦指導者として、継続的な（　　　）が必要であること。

⑧説明や指示を行う際には、幼児や少年、青年など年代に応じて参加者の（　　　）が異なることを知り、適切な伝達方法で行うこと。

　 Ａ：自己研修　Ｂ：姿勢　Ｃ：理解度　Ｄ：コミュニケーション

３．参加者に話をする際、指導者の立ち位置として配慮すべきことは何か、記述しなさい。

**自然体験活動の技術**

１．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。

①刃物を使う活動では、両手に軍手を着用することを指導するのが基本である。

②たき火をする際に、自然環境を守るためには、たき火台を使うのが効果的である。

③純綿素材の軍手を着用していれば火傷の心配はないため、燃えている薪や鍋に直接触れることは、問題ない。

④火起こしをする際、新聞紙や木綿など火のつきにくいものから順に火がつくように薪組みするとよい。

⑤アイスブレークの目的は、緊張した心を解きほぐすためである。

２．活動場所の自然環境を保全するためには、自然への配慮が必要であることを理解させることが必要である。その際、次のどれが適当であるか、正しいものを選びなさい。

ア．山菜や花、木の実等は地域から持ち出させない。

イ．山菜や花、木の実等を採取しても、生態系に影響が生じないにする。

ウ．代表者や希望者一人に山菜や花、木の実等を採取させる。

３．次の（　　）の中に、適切な言葉を記入しなさい。

①体験学習などにおけるグループワークなどの前に、初対面の参加者同士の抵抗感をなくすために行うコミュニケーション促進活動を（　　　　　　　　　　　）と言う。

②自然体験活動プログラムは、「起承転結」や「（　　　　　　　　）・本活動・まとめ」などで構成されている。

４．代表的なロープワークの名称を５つ挙げなさい。

５．自然体験活動プログラムの種類を１０種類挙げなさい。

６．アイスブレークの目的と効果について記述しなさい。

７．山や森などでの自然体験活動において、長袖長ズボン着用が推奨される理由を記述しなさい。

**自然体験活動の安全管理**

１．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。

①安全管理において、リスクとハザードを区別することは重要な視点である。

②リスクとは危険因子のことであり、自然体験活動のあらゆる場面において想定される。

③危険予知と対策の徹底は、安全管理の重要な考え方の一つである。

④ハインリッヒの法則によると、１件の重大な事故の背景には、29件の軽微な事故があり、その背景には100件のヒヤリとしたことがある。

⑤自然体験活動事故の要因として最も動物はクマである。

⑥熱中症、落雷や危険動植物などについて知ることは自然体験活動における安全管理では重要である。

２．次の文中の（　　　）に適切な言葉を選び、文章を完成させなさい。

出血している人を手当する際、感染症などを予防する観点から、ゴム手袋やビニール手袋などをできるだけ装着（　　　　）行い、出血部は心臓よりも（　　　　）位置をキープして手当する。

　Ａ：して　　Ｂ：しないで　　Ｃ：高い　　Ｄ：低い

３．危険を回避するために、事前準備で必要な事項を５つ挙げなさい。

４．自然体験活動中に傷病者が発生した際、指導者としてとるべき行動を記述しなさい。なお、この傷病者は、自然体験活動を継続できない程度の外傷とする。

**全体**

１．自然体験活動を行う際、大切だと思うことを３つ述べよ。

２．あなたが参加者に一番伝えたい自然体験活動の魅力とは何か、記述しなさい。

３．今回の講習で得た知見をもとに「指導者として大切にしたいと思うこと」について記述しなさい。

４．今回の講習で得た知見を、今後どのような場でどのように活かしたいか記述しなさい。

|  |
| --- |
| **試験問題回答例** |

■青少年教育における体験活動

１　①…○、②…○、③…×

２　①…Ａ、②…Ｂ、Ｃ、③…Ｂ、Ｃ、Ａ、④…Ｂ、Ａ

３　直接体験の不足、コミュニケーション能力の低下、ネット依存の問題　等

■自然体験活動の特質

１　①…○、②…○、③…×、④…×、⑤…×

２　自然のほか、自然と係る人間の生活や他者への関心を高めること、自然を大切にし、守る気持ちを育てること、自己肯定感や自尊感情を高め、他者を尊重する気持ちを育てること　等

３　五感や感性を磨き、生きる活力、生き甲斐、自然との調和、人に対する思いやり、愛情や友情などを高める　等

■対象者理解

１　①…○、②…×

２　Ｂ、Ｃ、Ａ

３　身振り手振りも交えて伝えたいことを的確に話すとともに、対象者への傾聴を忘れず、話過ぎないよう気をつける　等

■自然体験活動の指導

１　①…×、②…×、③…×、⑤…×、

２　Ｂ、Ｄ、Ａ、Ｃ

３　参加者に見えやすく、声が通る位置に立つ（太陽に向かって、風上に立つのが望ましい）等

■自然体験活動の技術

１　①…×、②…○、③…×、④…×、⑤…○

２　ア

３　アイスブレーキング、つかみ

４　本結び、もやい結び、自在結び、八の字結び、巻き結び　等

５　キャンプ、オリエンテーリング、登山・ハイキング、沢登り、カヤック、ラフティング、  
自然観察、バードウォッチング、野外炊事、クラフト　等

６　目的：初対面の人同士の緊張を解きほぐす、効果：講習等の始まりに、硬い場を和らげる　等

７　転倒時や、草木のかぶれ、ハチ、アブ、マムシなどから身を守るため　等

■自然体験活動の安全管理

１　①…○、②…○、③…○、④…×、⑤…×、⑥…○

２　Ａ、Ｃ

３　危険箇所の洗い出し、リスクの評価と対策の優先順位付け、スタッフ間の情報共有、緊急連絡体制の確認、備品の点検整備　等

４　参加者の安全を確保したうえで、応急処置を行う。必要に応じて救援を要請し、事業担当者に状況を報告して事業の継続の可否を判断する　等

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **自然体験活動指導者（リーダー）修了試験問題**【作成例】  名前：  １．以下の設問に関して正しければ○、間違いなら×を記入しなさい。（１問５点）②体験活動は、生活・文化体験活動、自然体験活動、学校体験活動の３つに分類できる。  ③自然体験活動は、自然を大切にし、守る気持ちを育てる。  ④対象者の活動経歴や地域性、身体的な情報などは、参加申込書等から事前に把握しておく必要がある。  ⑤子供を対象とした事業の場合、年齢や体力は考慮せず体験する活動を行えばよい。  ⑥散策中は指導者の体力に合わせて歩くことを心がけると、参加者への負担は軽くなる。⑦野外活動で最も事故の多い危険な生き物はクマである   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ |   ２．次の文中の（　　　）に適切な言葉を選び、文章を完成させなさい。（１０点）  出血している人を手当する場合は、感染症などの観点から、ゴム手袋やビニール手袋などをできるだけ装着（　　　　）行い、出血部を心臓よりも（　　　　）位置をキープして手当する。  　Ａ：して　　Ｂ：しないで　　Ｃ：高い　　Ｄ：低い  ３．アイスブレークの目的と効果について記述しなさい。（１０点）  ４．参加者に話をする際、指導者の立ち位置として配慮すべきことは何か記述しなさい。（１０点）  ５．今回の講習で得た知見を、今後どのような場でどのように活かすか記述しなさい。  （３０点） |